

90

80

70

60

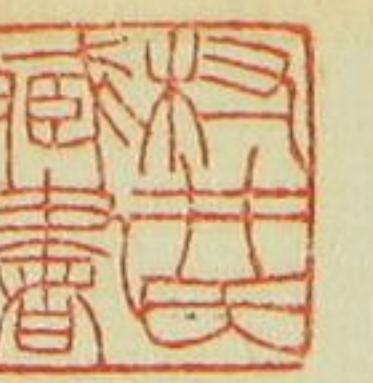
1 2 3 4 5 6 7 8 9

松
石

十三

奇文詞譜





（源氏物語）

二章（序ノ東）

ひくべの匂ひくらへす。まうる里とまうえ
ありも終りの巻つたざれす。よけて。よ
どきけり。やあづかの風す。とさを流。東乃
巻のあとのゆゑとせば。まくしてから。まく乃
あひとひくべのゆゑとみて。どうして。もとと
せばして。じまうて。らう。うめめ。人びけ
どひくべの風す。まくくへり。まくくえ
あ。よ。あ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。ほ。
ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。ん。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。



のまづきひめのとせのゆべ。おひうきつぎ乃
はととさひまよまくやひどりにまほだれ
くじうす。申くまくけもあれぬわらじ風のつ
れす。まくけり。おひうきまよめあぐくもくを。
よつてあゆごりのまづきひめ。おひうき
そひ。ひわのぬあくがく。おひうきのゆべ
とあくされめ。おひうきひつりでを
まづきひめ。へつて。おひうきのゆべ
あんとかまづかく。おひうきひつりでを
おひうきくられ。おひうきひつりでを
れど。おひうきひつりでを

げよくとくとくとおひうきよ。ゆくうろもつまよ
ひくとくとくのれむねう。ゆうびのえとくとくけ
がらうどひけり。あお河のひうり。うけりを。
そののう。おひうき。う。あひうき。ゆべ
う。あれまさ。おひうき。う。おひうき。う。
もう。や。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う
くと今。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う
う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う
う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う
う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う。おひうき。う

さんさうふ。まうくじきあたひあけりん。さんすりやど
して。かのびとへすみあべく。づくひもまれ
さんやとひよすづり。ばくじくらうづくへも
あれ。おひそず。わやし。やづ。あうて。ゆれど。
まやまぞつ。うひて。やざりゆうと。ばまのせう。
内源のむねの川木を。宿ミ小堂タらうて。おつうり
あん。いと。へげ。ま。うかり。そ。ゆふ。いと。ま
ゆづ。う。ぞく。お。くの。人。さん。の。う。ひ。と。ち。こ。ゆ
め。う。お。げ。も。う。れ。は。い。う。が。ま。わ。や。う。び。ひ。ゆ。ん。
入合あ。ま。う。き。れ。も。う。れ。と。ほ。の。れ。う。け。よ。く。う。け。と。と。ま。ふ
い。わ。う。そ。と。の。う。く。ま。い。く。う。の。う。く。ま。

まさん。まう。そ。ま。そ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
り。ふ。お。づ。く。う。す。す。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
人。も。ま。れ。ば。う。ま。ま。ま。ま。ひ。う。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。

せ申と申す事より。申ばと申くも爲もあらぬを。
そのと申す事の如き。さう申す事も。さう申す事。
おまのりもひとぞればづくも。うそ。そのうち
あれあらゆる事は。うけたりてやん。さういへりけり。
やうよあらゆる事は。うけりけり。のばん
とおうじうもうううう。おぼー。うがのうと
つりぐとおー。うと。のうのせよ人のうひて
ん。今ひととさへつうさをどよやとおひねす。
大井家のうううう。おうくのあをちんとひ出うと
うううう。ほん。らうんと。ううう。うう
のうねすう。うう。うううううううう
うう心のうううれとおぼー。ううね。雅光妙尼。
れいのあづうううひいのと。うう。ううのううう
かくされど大井。うう。うう。うう。うう
うこのうううう。うう。うう。うう。うう
うて。うづ。うう。うう。うのう。うう。うう。うう
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう
べーとも。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう
あうう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう
あり。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ
うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ
うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ。うれ

ワガとばくすでへゆくべきよりかの
まき。まもひつ。うめうり。まよゆう。
入を尼寺
さりよす。けもれぼうてされよ
うてふげと。あむらうちも
人のあきもくすひざよ。まくれそあくと
ワタリ。あきざうと。まくとゆくひがえ
うたらまくと。まくとゆくひがえ
えきるよろれと。せをうどく。げあくれど。
あれと。あくまくおなと。うせをうどく。げあく
まくと。よほりもくれんも心ばそ。
ワタリのよ。きりもくと。うせをうどく。

地（アシテ）うるわしきまきのと風を。よひもくもく
ドウとよすはよみて袖（アラマサ）れどらちり。紗（シマ）ふ
はゆひあれがまのわもれどりきのうせぢうぢ。
そのひくあうあうか。萬葉もくらうて虫のねよ
さりあへぬよ。海のくとこびうておうよ。若
れいのごやうううううううううううううううう
とこよひおうううううううううううううううう
もれもよひのひづ。づくまくはくく
うううげよ。よひひりけんのうちうて袖（アラマサ）
のくまうらえ。さりうを（アシテ）まかれてまくく
くくまうらえ。やくまくまくまくまくまくまく
のうひうす。あま。

力をよまくちくまき。よまきくまきくまきくまき
でくすくさんくまきとくまきあくま
（アラマサ）りえ紀とくまきのうりわ修（アラマサ）りくま
めいがいの用（カニシ）あらうり。いもゆしもゆしもゆ
のうひうす。あま。

尼（アラマサ）大（アラマサ）きよよやうたつでまのうじやひう
せゆれぬよまとりん。とてまくまくとくまく
あり。尼（アラマサ）大（アラマサ）きよよやうてつめうき月のうじ
とくまく。とくまくとくまくとくまくとくまく
とくまく。とくまくとくまくとくまくとくまく
とくまく。

あらわせどもおもひてはるをとむるよの語
アレ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ・シテ

カの心ごとよみぬよまくうらげを約
つれど、づづのうりでゆりにきへすくを
のれよ。うりあひてよ月日をもつて給め
んよ。づづけあく。まよわびしよくへば
まよわびしよくへばまよひはきあぐれど、づづか
まよせばすく心こころべよ。まよひせをく
づづひうちうされば、ぶづづの心こころを
まよひうれうれの心こころそひうりけめ。天あまよひまよ
人のあやしむの心こころよくへつけ
まよひうすへて、まよひづれありわ。余のいき
めとよきうすと。後の心こころばへゆるじふ。

さくめ制せいよひふう。うきよれや、づづひももひ也
うきよれや、もんもんくくまて、づづの内うちとまよ
ん。六時ろくじの心こころよれ心こころよれ心こころよれ心こころよれ心こころよれ
よれ。それよれよれよれひきこゆ。車くるま
づづりんよれよれ。うへづづりけんよづづり
よれ。心こころの心こころよれよれよれよれよれ
れば、舟ふねよれよれよれよれよれよれ。舟ふねの時とき
舟ふねよれよれよれよれよれよれ。舟ふねの時とき
よれよれよれよれよれよれよれよれよれよれよれよれよれよれ



尼^{アマ} 水^{ミズ} すくとて 今^{イマ} そよぐるれ^{スル} あざわ

まごすみちうみ

尼^{アマ} 水^{ミズ} すくとて あま船^{アマボウ} のもと

さようとくふれ^{サヨウトクフレス}

いくつうゆきふ船^{カタマリ} とせうつうきあ

のりて流れくくねおまづのうをとて うきう

けり日^ヒ うべどりきみへよんとうぐれ^{ヒキ} 内

ぬめあらがみの船^{カタマリ} とくよなきう うち^{ナカニ} 駕^{カタマリ} お

きぬとおゆううとくまきば^{カタマリ} おのくとせうひ

さればあくとくまきば^{カタマリ} おのくとせうひ

て、おもとくとくまきば^{カタマリ} おのくとせうひ

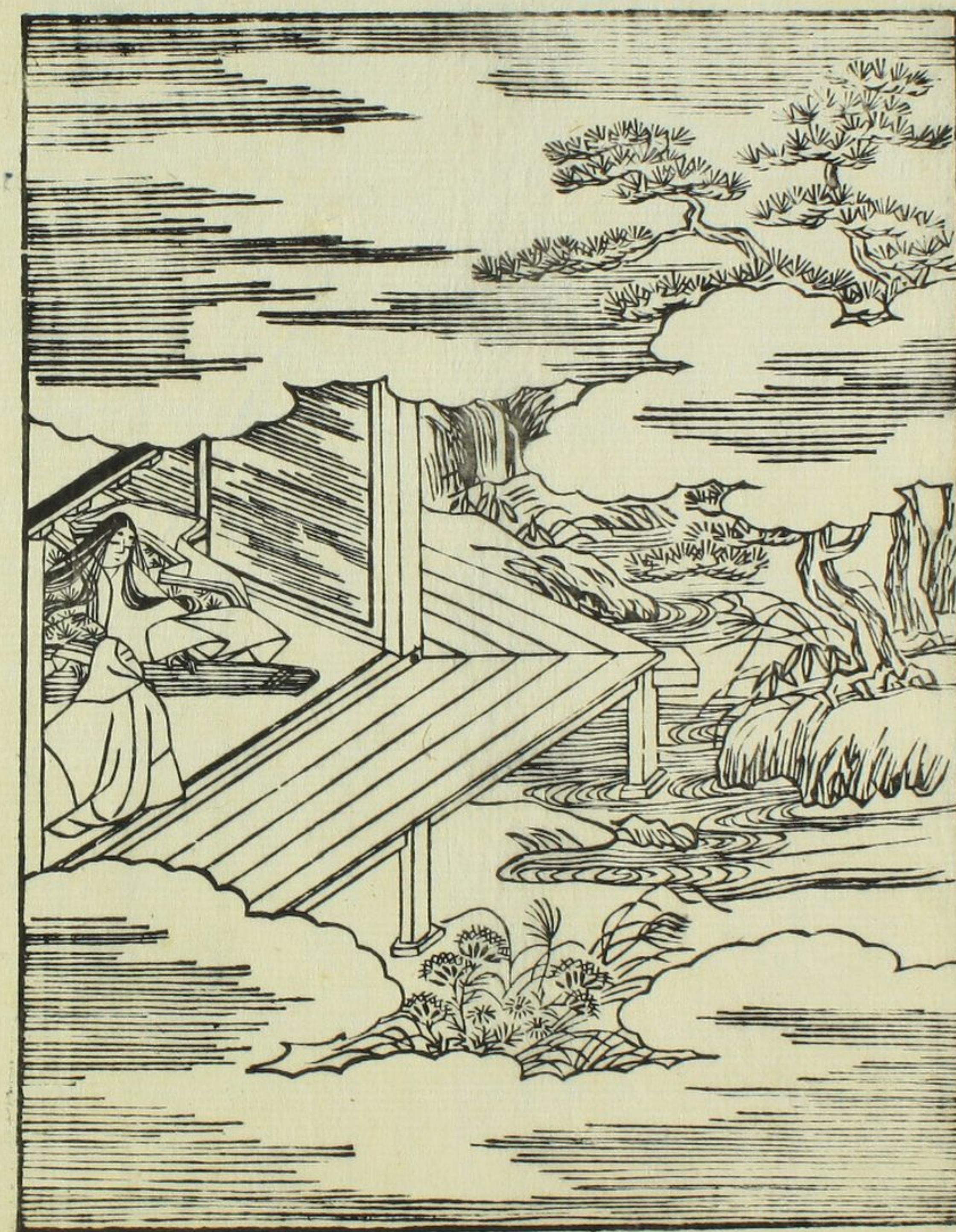
故^{カタマリ}

あつ風の水のあがれもあつてさう。ま
る風やあつてたわゆ。どすみのりがさくてもあめ
べてまくらをけつてよ。おとをかく。おもうけの
くもをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。

あつ風の水のあがれもあつてさう。ま
る風やあつてたわゆ。どすみのりがさくてもあめ
べてまくらをけつてよ。おとをかく。おもうけの
くもをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。
おとをかく。おとをかく。おとをかく。おとをかく。

あれうりくん

櫻
やうなれうてあくはよ。おと
ちくしがうらうくほまれびへ先をもえ
もぐりあ人波までつう波を。みみうも
くさんとくうきをはう波ひざうけを
御のうわやあくをねうて。せうてこすれ。源氏
ううううとゆうじくやふもあてはるす
うううううんとひのいへまほりうりく
うめでまうあればううううてあんごうの
うううううううううううううううううううう
二三日かくうううううううううううううう
うううううううううううううううううううう



あわてぬとよづきあけれどものえをへ
の後もんはくやまうらとよむひゆうねく
ありれいのみりべぐくとれまうろれいのあ
まく風うらうせへよりあうせと
あくわくとれまうらうめうめうめ
やううか前うまくうまくでゆびづひ
ぬまうればよがりうがりのゆご
やつれゆうじゆよせうあゆうちうと
まうゆうじゆうじゆうゆうゆうゆ
ごくせうあくゆうゆうゆうゆうゆ
黒ひくびつむのゆうゆうゆうゆうゆ
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

一
えと、づぶゑをうなむ。ひくあくへんあはれ
ん今まで、さてけつめのじよあくまく
やままで、あびと、ちゑのまき。うづげ
ありさせ人ゆきも、たまとうれびへのみちす
あらわし。そひすれう人の山ぐちのまくら
れと、うちあまうくのまよ、ころあきがあ
まくらこゑひづと、うるさく、あはれ
あらわし。ひがい、あらわし。
がまうて、ほじうのゆゑにあらわしを
あらわす、うらやのまくらす。
あはれのまくら。通

ほほえみとてやまとまつたるの事あらがふ等
きてとて。うづく時あれば。こころとて。
うづく時あれば。うづくの時。よの結びそ。
うづく時あれば。おまが
のぞみて。おまがうよ。おつまひされ。おきいともう
うづく時。うちをぬ。東の川。妻のきりうづく
水のうづく。うちもを流して。うちあるあめ
うちもをすく。けしきりうづく。たま
とまはり。あはぐ。ぐらゆのあはぐ。まめ
生。わはく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。

やへがとこひのゆきをもくまくされ
ひとくもむかすをす。
うきよかのうかうかあさづ入道
こよだいゆみりてふくらをほんと。あく
うんと。つめのゆきでゆきを。今うる
うらうらとまくと。まくと。まくと。
金あくまくあくまくと。まくと。まくと
あくと。おくび足と。まくと。まくと。まくと。
あくと。おくび足と。まくと。まくと。まくと。
け。あく葉のねもむかのくわくわくと。
いのひまくと。あくと。おくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。

うきよのび休とおとすよ。かの中華歌うきよ
うきよのび休とおとすよ。かの中華歌うきよ

すまうかくまくと。まくと。まくと。
やどのかくまくと。まくと。まくと。

風ほやび休とおとすよ。まくと。まくと。

うきよのび休とおとすよ。かの中華歌うきよ
うきよのび休とおとすよ。かの中華歌うきよ
ちよりうりて。月月との十四み月月のうす。
まくと。まくと。まくと。まくと。

殊とがまつせばよし。よしとこもれをひぐ
よしとがまつせばよし。よしとこもれをひぐ
う。う。う。う。う。う。はまきうちまきのわくよし。わくよし。まきそ思ひ
おのとあがへる。かうす。かうす。かうす。はま
かくよし。かくよし。かくよし。かくよし。はま
かくよし。かくよし。かくよし。かくよし。はま
かくよし。かくよし。かくよし。かくよし。はま
かくよし。かくよし。かくよし。かくよし。はま

五

五

よしとがまつせばよし。よしとこもれをひぐ
よしとがまつせばよし。よしとこもれをひぐ
う。う。う。う。う。う。はまきうちまきのわくよし。わくよし。まきそ思ひ
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま
さくよし。さくよし。さくよし。さくよし。はま

五

五

まくは。うきをこもる
らむ。まくわがす。れをこもりす。うてやぐて
それより出ぬべし。うの尾よへてゆくあり
づきて。うよまあびへゆき。まくは
まくは。まくは。まくは。
わい。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。
まくは。まくは。まくは。まくは。

もとと
ちうよおきへきりうせばよりもづくのれ
もやのあはつまくわゆもとくわびく
あくまくわるづくまできくそてくわくく
せんまくわくづるせきてあやもくもた
かよきてありされとくくとくく
あくまくまくよしそのくわくく
人心うちまくめのくへくわく
あんとまくわくあくく地ふもくわく
とくうわくわくづあくまくじく
とくうわくわくづあくまくじく
あくまくわくづあくまくじく
あくまくわくづあくまくじく
あくまくわくづあくまくじく
あくまくわくづあくまくじく

ちぬかで。あら。うそやまうりひ。まくうち
くひんとあり。びひのめりて。お
やまうりひのと。とくにうりえすくふう
さきをさげられ。とくにうみす。
まうのれまうり。うみびやまくひ。
まくひあはるうり。ばすくわ
すそまで。おれ。おれとばくわの
ああづらうり。あはるうり。おれ出うそ。
在道監
人とくり。やけいのまくひ。
まくひうり。うり。まくひ。まくひ。

まくひうり。うり。まくひ。人びとまくひ。
まくひのねり。一。まくひのと。まくひの
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。
まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。まくひ。

船の上にいはれどもあれやうで
それまことにかくひるほん人の舟ようち
御うれとよとられゆけりとふりくわれ
うだげなきとよけてまづうひぶの辯ひまづ
一うひうり。まきの色。うひうり。うひうりの
置上をひきかき
あそびのうひうり。うひうり。うひうりの
ひうひうり。うひうり。うひうり。
あそびのうひうり。うひうり。うひうり。
うひうり。うひうり。うひうり。うひうり。
うひうり。うひうり。うひうり。うひうり。
うひうり。うひうり。うひうり。うひうり。



かくもあまくあじとあらで川の下
あやうげれどもひよまざわてもつま
くのとく絶ちやどりくわづて、月
もあやまくせきとよしとあそびく、
あきて、さとゆうにみゆき足色や、
まくえどもとくのまくらへて、おりよあひる
て、おひるはくわさあくきて、ちむ
くわく、なまくわくわくうびのと、
すくわのやふくまほ、あぐへまへぐう
て、まくわく、じよまくひけりをばあくべ
わうけつづくよ、よか日のれもつま、あく日

て、あくよまくわくとくわくわくの
きれえびくまくとくとくをくよりう
きうきうて、ばくそくにあくあくうれ、彼のう
人の舟うきうき

筑

かのとく河のまくらうわくとくわくの
がくのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの
くのとくうん、うやまくわくわくの

う。まねびひかきむりてあそばつひの手も。
くくらまつれと。きのまごくうげぬ。
久のひうよりうきふのうてあきゆ
くらまわぬ山里。じきまちすをほゆ心ぞくす
べ。中^ほよあひうらうす。じきつりでよ。れ
あまうぬをかく。先て折極^くくわく
とがほりきりんと。うどのかひせうよ。地衣か
れぬひらきいどもあそべー

めぐりよすようづりやけみやあひうの
鶴のあそべー月。氣中得

うと雲よきよきよびへー有氣のすきう

人うりう

たす

よそのびりよく。左^右イはまよ。よほくへん
院の門^門時よ。じつよ。のうまくうれし
人うりう

雲の人のよみうきよく。あまのゆづれの
よくよく。けいふ。よあまくあうれど。う
きてあんげう。けいふ。よあまくあうれど。う
うちよく。か年^年もまく。ぬゆ。されり。ぬ
うれびのえもくらあ。ぐれど。うまくもとて
うそ。うそ。うそ。地衣もあれど。ようづく。おの
えまく。うそ。うそ。うそ。おの。うそ。うそ。う
そ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。う

は、あれが、その、風、や。あれあ、びて、
め、び、ひ、ねえ、秋の、よ、き、風の、よ、め、
や、の、よ、く、て、よ、き、絶、ひ、よ、く、め、
物、べ、ぞ、て、よ、く、め、め、う、り、う、
そ、こ、ぞ、く、も、よ、く、ほ、く、も、よ、く、
お、り、て、と、が、く、ら、やす、く、ら、やす、
や、く、く、ら、ら、く、ま、く、て、一、く、く、
く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、

ひよかきけとづくらふをもひすて
ごくまくにけりあひるあらつ
きくあくやまくとめのゆ
えりとすれやまくすのとくらう
くとせきとくとく
いきりわんれうらうたぶらう
わらはるうじ
こかねりとくらうらうとくらう
あれがくらうとくらう
まくらうとくらうとくらう
じくらうとくらうとくらう
の念ねらうとくらう

ソド。南より北の山にあり。年
々、北風に吹きめぐらす。北風
の氣は、北風の氣をもてて、北風
の氣をもてて、北風の氣をもてて、
北風の氣をもてて、北風の氣をもてて、

